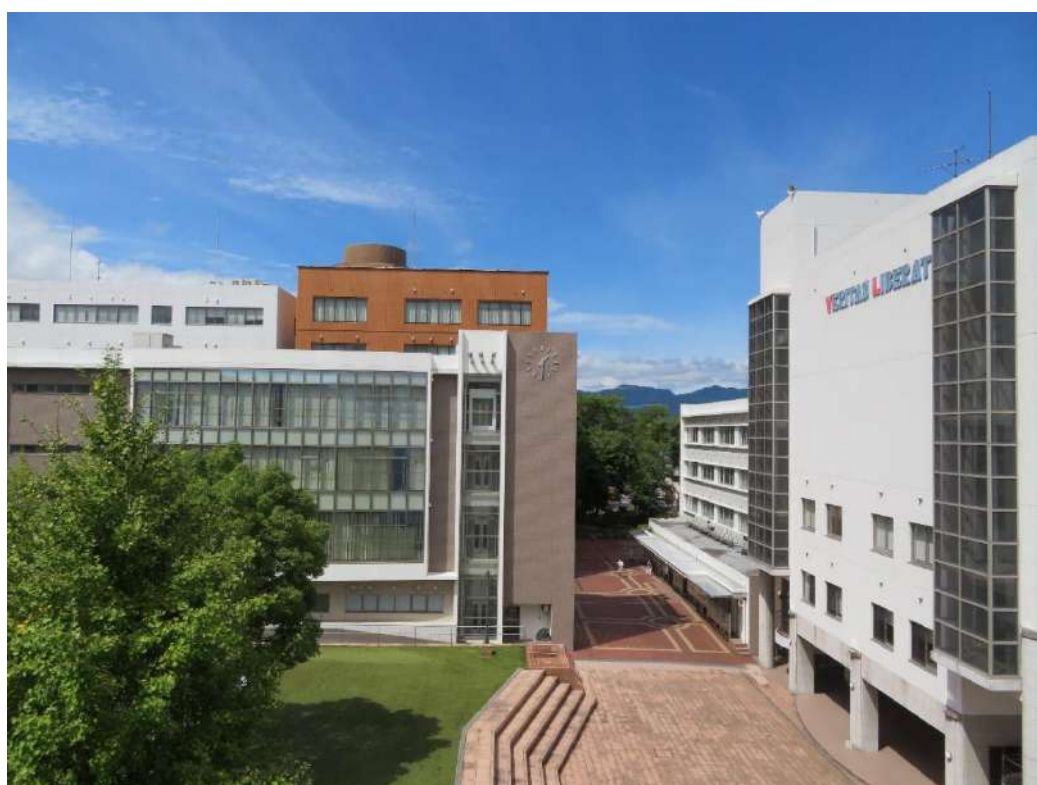


「湯の街別府から」第9回「温泉がある別府大学」

大分県内には9つの大学・短大があり、このうち別府市内には3つの大学・短大が集中している。少し規模の小さい溝部短期大学を別にして、日本国内に知られているのが通称 APU と呼ばれている立命館アジア太平洋大学で、世界各国からの留学生が学び、近年その存在感を増している。もう一つ、歴史のある大学として九州圏で知られているのが別府大学で、短大も併設していて、こちらも留学生が多く在籍している。

卒業後は帰国する学生がほとんどだが、一部の卒業生が市内で就職することも珍しくなく、人口約11万人の別府市内にはその約1割、1万人前後の外国人が暮らす。しかも訪日外国人観光客も多いので、新型コロナの発生以前は毎年130万人以上が市内に来ていたので、街を歩いていると必ず外国人とすれ違う。別府という街は、国際色豊かな都市でもある。



別府大学キャンパス

温泉地別府市内に所在する中で、前述の3大学のうち個性的でユニークな大学が別府大学だ。通称「別大」と呼ばれるこの大学に、なんと温泉が湧き出る源泉がキャンパス内にあるのだから。その数4か所。日本全国に数多ある大学で、

キャンパス内に源泉を所有しているのは、おそらく別大だけだろう。火山国の日本には北海道をはじめ東北から関東、近畿、中国、四国、九州と日本列島それぞれの都道府県に温泉地が点在しているが、温泉地のある都道府県内に立地する大学も多いものの、別大のようにキャンパス内に源泉がある大学の存在をまだ聞いたことがない。

別大は、当地で建学してから110年を超す歴史を持つ。大学院と大学、短大を併設していて、学生数は約3000人と、決して大規模な大学ではない。それにも関わらず、学生の充足率は102.8%と安定し、無借金経営を続けている。キャンパスは、別府市内の中心地から北に少し離れた場所にあり、近くには地獄めぐりで知られる鉄輪温泉がある。市内にはその数全国一を誇る約2300の源泉があるが、別大のキャンパス内にそのうちの4つの源泉があり、しかも7つの温泉施設があるのが珍しい。



キャンパス内にある源泉貯水槽

7つの温泉施設は、学生が利用する室内温泉プールやトレーニングルームなどにあり、面白いのは守衛室内も温泉完備で、こちらは守衛専用なので、学生は利用できない。こうした温泉施設の中で唯一、一般者も利用できるのが「大分香りの博物館ハーブガーデン」という足湯。大学が運営している学内施設で、ここにはレストランが併設されているので、近隣の住民や観光客などが立ち寄っては、食事の合間に足湯で癒している。



「大分香りの博物館ハーフガーデン」内の足湯

「大分香りの博物館ハーブガーデン」の足湯は別にして、普段は一般利用できないキャンパス内の温泉施設だが、“別府大学温泉”と名付けた温泉には、年に一度だけ入浴できる日がある。毎年11月の初めの土・日曜に開催される大学祭でのことで、一日限定で先着88人に整理券が配られ、しかも別府八湯温泉道のスタンプが獲得できる。88人限定は別府八湯の8にちなむもので、スタンプは別府市内の88か所の温泉に入浴すれば押印することができ、見事88か所集めると温泉道の初段の段位が授与される。滅多に押せない別大のスタンプだけに、これを目当てに大学祭に来るマニアもいて、コロナの感染拡大前に筆者が訪れた時には、遠く関西から夜行バスに乗って朝に着いた別府“湯遍路巡り”の52歳男性湯礼者”と出会った。湯礼者曰く、「10年前に50円だった“スパポート”を買ってから温泉道名人を8回達成させ、今では永世名人です。大学祭でのスタンプは貴重」と話していたが、熱心な湯礼者には脱帽したものだ。しかし、別大生はうらやましい限り。一日の授業や部活で疲れた体をキャンパス内の温泉でリフレッシュすることができるなんて。さすが、温泉都市にある別府温泉大学だ。



年に一度、大学祭の開催時に開放される“別府大学温泉”

全国の学舎の中で、源泉と温泉施設がある珍しい大学だけに、講義のカリキュラムもユニークだ。一般にも開放されている公開講座「温泉学概論」はその典型で、学内の教員だけでなく、広く外部の識者を招聘して、温泉に関する歴史や文学、民俗学、芸術、食、観光など様々な講義を行っている。最近では温泉をキーワードに熱くアピールするため、「別府“温泉”大学」または「BEPPU 湯 NIVERSITY」

というキャッチフレーズで、大学のホームページに CM 動画をアップしている。



温泉を活用して大学を PR する手ぬぐい

大学側によると、「源泉所有という宝を十分に活かしきれていない」とのこと
で、これからも温泉を全面に打ち出した「別府”温泉”大学」の名を、日本全国
に広めていくという。中国で大学進学を目指して頑張っている皆さん、志望大学
に留学、それも別府大学を候補に含めてはいただけないだろうか。

文／図：鈴木源柱